さくら組ドキュメンテーション

「色水の入れ方」

Ａちゃんはペットボトルタワーに色水を入れる為、小さいペットボトルを使って色水を入れていた。

↓

しばらくしてＡちゃんは大きいペットボトルを持ってきた。
始めは、色水の入った桶に大きい方を入れ、色水をためようとしていたが、色水がたまらなかった。
そこで先程まで使っていた小さい方に色水をため、大きい方へと移していた。
その後大きいペットボトルに色水をためたＡちゃんは、それをペットボトルタワーに入れ、水の動きを見ていた。

☆考察☆

- Ａちゃんは最初大きいペットボトルを桶に入れたが、それでは色水がたまらないということに気づいたのかもしれない。そこで小さいペットボトルを大きい方に移すということを自分で考えたのだろう。これは保育者の真似やアドバイスではなく自分で考え、行った事の為Ａちゃん自身が満足して遊びに集中する事が出来たのだと思う。
- Ａちゃん自身が考えたやり方でペットボトルタワーに色水を流すことが出来て、遊びが充実したと思う。